



ごあいさつ

2月17日から3月27日までの予定で2月議会が開会し、令和8年度当初予算案の審議を行っています。来年度の当初予算案は一般会計が約9,978億円と前年比-2.8%にはなりましたが、令和8年度は、「神戸市基本計画」「神戸2030ビジョン」の初年度にあたり、久元市長からは、『ビジョンに掲げる施策を積極的に展開することにより市民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進める』との説明があり、予算には、これまで公明党市議団として要望してきた様々な施策も盛り込まれました。また、私が提案・訴えた様々な課題に対する予算も措置され、提案実現にむけて動き出しています。

来年度予算案の紹介

<5歳児健診の実施>

乳幼児健診は3歳児健診以降は小学校の就学前健診しかなく、社会性が発達し始めた頃の5歳児健診は、発達障害等のスクリーニングに適しており、公明党市議団はその必要を平成19年から訴え続けてまいりました。

神戸市ではこれまでに個別健診の実施を、神戸市医師会や大学教授の専門家をはじめ、市各局と検討を進め、健診とアフターフォローの体制の整備に目途がついたため、来年度からの実施の予算が提案されました。これにより神戸市の子育て施策が一段と充実します。



<フリースクール等を利用者の経済的支援>

小中学校の不登校児童生徒は年々増加しています。そのため、国の方針に基づき、登校のみを目標とするのではなく、全ての児童生徒に多様な学びの場の確保を進めています。

そのような中、フリースクール等に通う保護者から経済的負担のご相談を受けていました。昨年度から県はフリースクール等の利用者の経済的支援を始めましたが、神戸市民は対象外でした。

そこで、神戸市では市の単独事業として、県の2倍となる上限2万円の利用料の半額補助を実施する予算を組みました。



<学校の体育館空調設備>

神戸市では、災害時に避難所にもなる小中学校の体育館の空調整備をいち早く進め、令和6年度までに完了しました。

しかし、体育館は空間がとても広く建物の断熱も十分ではないため、整備した空調の効果は極めて限定的でした。

そこで、国の新たな交付金も活用しながら、空調の増強をモデル的に3校実施するとともに、全校の調査を実施する予算措置が取られました。



<防災士養成研修の市内実施>

昨年9月議会で私は、防災士の養成講座は県内では1カ所三木市での開催のみで、倍率が高くなり取得が難しい問題点を指摘しました。そこで、神戸市でも防災士養成講座を開催し、市民のさらなる防災意識の向上と人材育成に注力するとともに、地域に点在する防災士を核に神戸市全体の防災意識や防災力、そして共助の体制の底上げを図る取り組みを提案しました。

その結果、来年度予算案では、防災士資格の取得研修を市内で開催する予算が確保され、地域防災力の強化が進みます。



<繁華街における環境美化対策>

同じく昨年9月議会で、三宮周辺繁華街での事業系のゴミ出しの問題を取り上げました。この具体的な解決策の一つとして私は、カラス対策ネットボックスの活用を提案しました。

その結果、ネットボックスの実証実験による効果と課題の抽出と、収集を行っている一般廃棄物収集運搬許可業者やビルオーナーと連携した取り組みを進めることになりました。



<分譲マンションの管理状況等の届出義務化・支援の拡充>



マンションの2つの老いである、建物の老朽化と所有者の高齢化で将来的なマンションの適正な管理が困難になることが予測されています。

そこで、神戸市が管理不全のマンションをいち早く把握するために、分譲マンションの管理状況の届出を義務化する条例を制定しました。それと同時に、管理組合に対して届出をサポートしたり、専門家の派遣等の支援の拡充を行います。

市民の声に寄り添いました



左の写真は、琴ノ緒町1丁目にある信号機のない交差点で、角には保育園があり小学校の通学路にもなっています。しかし、建物の影響で見通しが悪く、しばしば車同士の出会い頭の衝突事故が発生しています。

近隣住民の方から度重なる事故に不安の声が届いたため、道路を所管する中部建設事務所に対策をお願いしたところ、交差点での事故を防止するための十字マークが消えかかっていたので、塗り直してもらいました。

公明党市会議員団控室

〒650-8570
神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL: 078-322-5842



YouTube



Instagram

